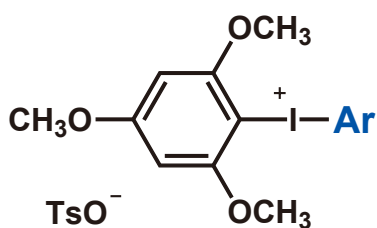
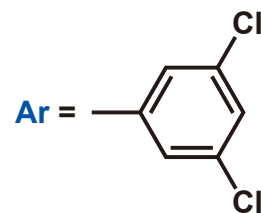


金属フリーで反応する 空气中で安定なアリール化剤

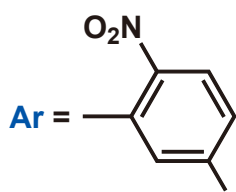
ジアリールヨードニウム塩は、多様な反応性を示す化合物として知られており、ポリマー合成における光酸発生剤や後述する金属フリーなアリール化剤としても用いられます。中でも入手容易で回収可能な補助基を有した非対称ジアリールヨードニウム塩は、廃棄物を減らし、かつ、目的のアリール部位を導入できるため、特に有用です。2,4,6-トリメトキシフェニル基は他のアリール基を化学選択的に転移させる優れた補助基であり、以下に示す化合物を用いるC-, N-, O-, S-求核剤へのアリール基転移反応は今後の利用が期待されます。



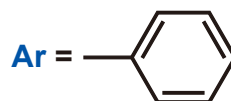
[4-(Bromomethyl)phenyl]-
(2,4,6-trimethoxyphenyl)iodonium
p-Toluenesulfonate
200mg
[B5269]



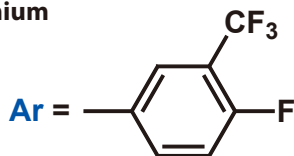
(3,5-Dichlorophenyl)-
(2,4,6-trimethoxyphenyl)iodonium
p-Toluenesulfonate
200mg / 1g
[D5145]



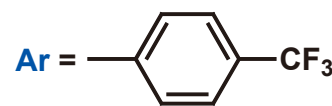
(5-Fluoro-2-nitrophenyl)-
(2,4,6-trimethoxyphenyl)iodonium
p-Toluenesulfonate
200mg
[F1110]



Phenyl(2,4,6-trimethoxyphenyl)-
iodonium
p-Toluenesulfonate
200mg / 1g
[P2412]

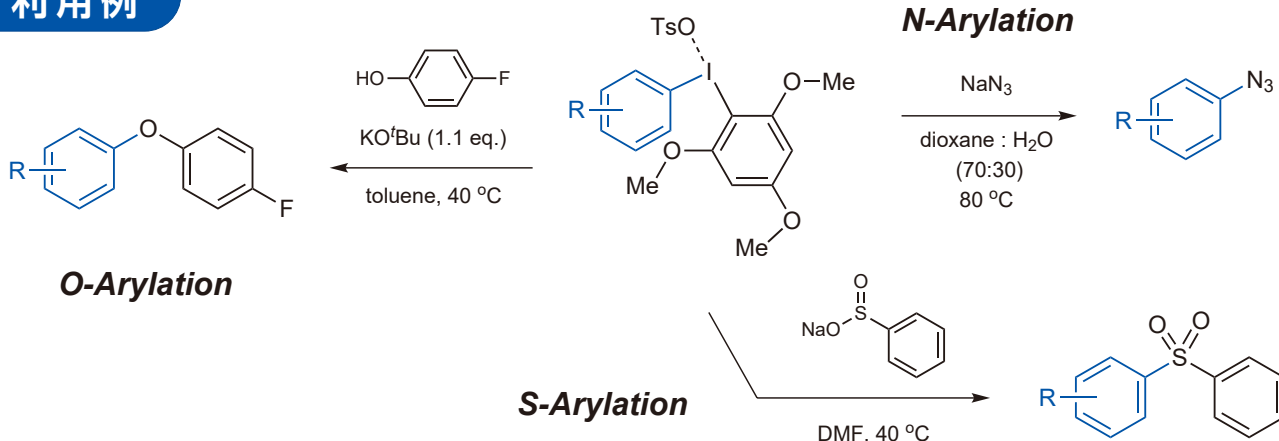


[4-Fluoro-3-(trifluoromethyl)phenyl]-
(2,4,6-trimethoxyphenyl)iodonium
p-Toluenesulfonate
200mg
[F1111]



[(4-Trifluoromethyl)phenyl]-
(2,4,6-trimethoxyphenyl)iodonium
p-Toluenesulfonate
200mg / 1g
[T3622]

利用例



金属フリーで反応する空气中で安定なアリール化剤

研究室のご紹介



Dr. David R. Stuart
Portland State
UNIVERSITY

Stuart 研究室



ご研究内容

Stuart研究室では、アリール(2,4,6-トリメトキシフェニル)ヨードニウムトシラートのワンポット合成と、C-, N-, O-, S-求核剤へのアリール基転移反応の有用性について近年報告しています。これらヨードニウム塩の特長は次の通りです。1. 室温で空气中において安定な固体であること。2. 遮光条件下で恒久的に安定なこと。3. 触媒添加や不活性ガス下にしなくても、温和な条件下で種々の求核種と反応すること。ヨードニウム塩はトシレートからブロミドなど種々のアニオン種に変換可能なため、非常に有用な試薬といえます。

上記以外のヨードニウム塩についても取り揃えています。各製品の詳細はTCIのウェブサイトです ▶▶▶

TCI ヨードニウム塩



東京化成工業株式会社

試薬製品について

■本 社 営 業 部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520 E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com

■大 阪 営 業 部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-21 第2中井ビル1階
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158 E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com

スケールアップ、受託サービス(合成・開発・製造)について

□化成品営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-5651-5171 Fax: 03-5640-8021 E-mail: finechemicals@TCIchemicals.com

弊社製品取扱店

本誌掲載の化学品は試験・研究用にのみ使用するものです。化学知識のある専門家以外の方のご使用はお避けください。品目や製品情報等、掲載内容の変更を予告なく行う場合があります。内容の一部または全部の無断転載・複製はご遠慮ください。